

幹本申第5号「盛岡新幹線車両センターの業務執行体制の見直しについて」団体交渉を行う！！③

5. 仕業検査担当の新規養成において、ATC 特性検査・列車無線外観検査とCM分油フィルター取替・更油作業の教育を養成期間内に終了させること。

会社回答「今後も必要な教育は行っていく考えである。」

組合	体制変更後は見習い期間中に教育が終了しないと作業に支障がでる。どうしていくのか。
会社	ATC 特性教育にスリがあったことは把握している。基本的に見習い期間中に終了させていくことを考えている。
組合	具体的にどのように教育するのか。
会社	見習い期間中にある程度のATC 特性検査回数を確保出来れば良いと考えている。勤務と検査計画をリンクして終了出来るようにしていく。
組合	CM分油フィルター取替・更油作業はどのように教育するのか。
会社	日勤で机上教育と現車で物を見ながら教育する。
組合	教育で実際の取替作業等は行わないのか。
会社	手順書があれば問題ないと考えている。不安なことがあれば管理者へ伝えて欲しい。
組合	基本的な考えとしては見習い期間中に終わらせる考えで良いか。
会社	基本的な考えとしてはその通りである。

基本的には、見習い期間中に必要な教育を終了させることを確認！

6. 仕業検査担当が臨時修繕を担当することから必要な教育を行うこと。

会社回答「今後も必要な教育は行っていく考えである。」

組合	仕業担当の社員からは「不安しかない、臨修をやってないから分からない」という声があるのが現状である。どのように教育していくのか。
会社	作業として大きく変わるものではない。経験値の差はあると思うが、臨修は仕業が出来る人なら出来るべきことと考えている。
組合	施策で生み出した3名をどのように教育に活用していくかが重要。教育を重点的に行い、技術継承をしていかなければならないことが課題だと感じており認識を一致させたい。
会社	不安があること色々理由があると思う。箇所内のコミュニケーションの話だと思うが、そういう声があったことは箇所に伝えたい。
組合	日常清掃への上回り関係の申告は、これまで通りグループ会社が対応するのか。
会社	これまで通りグループ会社が対応する。

教育・技術継承と職場内のコミュニケーションが重要であることを認識一致